



TT通信



～TEAM TAKANISHI 心一つに 未来をつくる～

第22号

令和3年1月18日

研究主任 小坂

初 大学入試共通テスト実施 ～これからの学びにいかすために～

18日・19日に「大学入試共通テスト」が全国各地で行われました。これまで行われていた「大学入試センター試験」に替わって、新たに「大学入試共通テスト」が創設されました。大学入学者選抜の変遷は、昭和54年から平成元年度までは「共通一次学力試験」が行われました。そして平成2年度から昨年度までは「大学入試センター試験」が行われ、今年度より「大学入試共通テスト」が導入されました。目的は、「高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定すること」（参考 独立行政法人 大学入試センターHPより）と位置づけられています。

大学入試共通テストとは？

今年度より実施された「大学入試共通テスト」とはどんな試験なのでしょうか。独立行政法人 大学入試センターのHPでは「大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題」を出題するということが明記されています。また「高等学校学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を踏まえ、知識の理解の質を問う問題や、思考力、判断力、表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視」とも明記されています。

センター試験との違いは？

- ・英語はリーディングとリスニングで実施された（100点満点で実施）
- ・マーク式問題でも、「思考力・判断力」を問う問題が増えた。
- ・マーク数が減少した。
- ・資料、グラフ、地図、写真、文章などの読み取る資料が増加した。
- ・教科書に載っていない所見の資料や実験なども扱われ、既知の知識をもとに推論したり、資料や問題文の情報から推測し考察する力が問われた。
- ・日常生活の中から課題を発見し、解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する問題が多くなった。

【参考資料：河合塾グループ HP】

すべきこと

今回の大学入試共通テストでは、これまでの事実に知識と解法の暗記（受験テクニク）で解答できる大学入試センター試験から大きく変化が見られました。（小坂的に特に地理Bの問題など・・・）どんなことが問われているのか、求められてるのかを確認し、先を見据えることで、今の中学生につけなければならない力を再確認しましょう。広島県をはじめ高校入試も大きく変わろうとしています。そのヒントがこの大学入試共通テストにもあるように思います。お忙しいとは思いますが、問題のご一読を！